

| | | | | |
|------------|---|--|--|---|
| 教科名 | 商 業 | 科目名 | 会計（3年次）【4単位】 | |
| 授業形態 | 講義形式 | | | |
| 選んでほしい生徒 | 簿記を履修している者。簿記による大学進学希望者は履修のこと。 | | | |
| 科目の目標 | 財務諸表の作成やこれを分析し活用するための能力や、効果的な経営活動に役立てる能力と態度を養う。 | | | |
| 身に付けてほしい学力 | 会計制度や財務諸表を理解し、財務諸表の作成方法や見方を身に付け、将来、実社会で活躍できる素地となる能力。 | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | |
| | 【1学期】 1 会計の基礎 2 貸借対照表 ・資産 【2学期】 ・負債・純資産 ・貸借対照表の作成 3 損益計算書 ・収益・費用 【3学期】 ・損益計算書の作成 4 財務諸表の活用 | | ・会計の意味と目的を明らかにするとともに会計がどのような規則や制度にもとづいて行われているのかについて学習する。 ・貸借対照表に記載される内容の分類、記帳、評価について学習する。 ・損益計算書に記載される内容の分類、記帳方法について学習する。 ・企業経営の社会的責任の意味を学習し、財務諸表分析の意味・方法を学習する。 | |
| 評価の観点・評価方法 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 技能・表現 | 知識・理解 |
| | ・株式会社の会計に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する態度を身に付けている。 | ・処理法や記帳法、財務諸表の作成方法について自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。 | ・株式会社の会計に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現する。 | ・株式会社の会計に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、企業会計の基本的な理論及び財務諸表の作成方法について理解している。 |
| | 上記の観点を踏まえ、定期考査、提出物、授業態度、出席状況等を以上を総合的に判断して評価する。 | | | |
| 学習のアドバイス | 1 全商簿記検定1級（会計）の資格が取得できます。自分のやる気次第で上級を目指すことができますから、目標をもって学習し、卒業後の進路にも役立てましょう。 2 企業会計に関する記帳能力を養い、財務諸表のしくみについて理解を深めるとともに、将来の経済社会をにやう有益な人材になれるよう目標をもって学習しましょう。 | | | |
| 教材費 | 教科書 約1,000円 | 問題集 約700円 | 検定受験料 1,030円 | |
| その他 | 特になし | | | |